

投資事業評価調書（新規）

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 阪本 哲 (林 任輝)	内線	4459 (4465)
------	-----	---------------------	-----------------------	----	----------------

事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	約2.2 億円
		通常砂防事業 とうげたに 峠谷川		内用地補償費	約0.1 億円

所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
出石郡 但東町 <small>おくあか</small> 奥赤			16年度	16年度	19年度

事業目的	事業内容
土石流災害対策 ・土石流危険渓流に該当し、流域の荒廃が進んでおり土砂災害の危険性が高まっているため、堰堤工を設置して地域住民の人命、財産、(一)赤花薬王寺線及び災害時の指定避難場所である奥赤公民館を保全する。	・砂防堰堤工 2基 (H = 7.0m, L = 59.5m) (H = 7.0m, L = 55.5m)

評価視点	評価結果の説明
(1)必要性 安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・峠谷川は土石流危険渓流である。 ・渓流の浸食が進むなど流域内も広範囲に荒廃しているが、砂防設備は未整備である。 ・保全対象: 人家 = 12戸、公共施設 = (一)赤花薬王寺線、町道 奥赤公民館(地区避難場所)、田畑 = 1.06ha
地域の活性化	・砂防堰堤工事により土砂災害の危険性が軽減され、下流域の有効な土地利用が図れるようになる。
快適性・ゆとり	・堰堤設置により土石流を止め、下流域への土砂氾濫を防止することにより、下流域の住民に安全で快適な生活空間を提供する。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の土砂災害に対する認識度も高く、事業化への要望が強い。 ・豪雪地帯対策特別指定地域、山村振興指定地域及び過疎対策法対象町に該当し、堰堤工の整備により条件不利地域の安全性向上に寄与する。
(2)有効性・効率性 有効性	・人命・財産(人家12戸)に加え、地域の生活道路である(一)赤花薬王寺線、災害時の指定避難場所である奥赤公民館が保全されることから、事業実施による投資効果は大きい。
効率性	・町等の協力体制が整っており、円滑な事業執行が可能である
(3)環境適合性	・透過型堰堤の採用により渓流の連続性に配慮し、生態系の保全に努める。また、工事による法面については緑化を図るなど環境保全に努める。
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> ・土石流の想定被害区域には人家12戸、(一)赤花薬王寺線、災害時の指定避難場所である奥赤公民館がある。 ・流域の荒廃が激しく進み、土砂流出の危険性が高く、奥赤地区の人命・財産等を保全するため早急な対策が必要である。